

■■荷物と身体の微妙なカンケイ■■

さて、カート問題の項でも触れたが、コミケットでの荷物は、ほとんど誰でも、重い。様々な装備に加えて戦利品は刻一刻と増えていくし、人によってはコスプレ衣装や着替えも追加されるわけだから当然なのだが、問題はそれをどう運ぶかということだ。

荷物の体感重量はその持ち方や運び方によって全く変わってくる。つまり適切な方法を知れば、同じ重さの荷物でもずっと楽に運べるというわけだ。

ただでさえかさばる冬の荷物、賢く運んで会場内の混雑を緩和しよう！

■まずは体感重量の基礎■

荷物の重さが同じ場合、その荷物が身体から離れた場所にあり、荷物と身体が接触する部分が小さい程、重く感じられることを知っておこう。

つまり、同じ重さでも手に掲げるよりも肘から下げる、それよりも肩から下げたり担ぐ方が軽く感じられるし、また、手や肩に触れるベルトや紐は太い方が楽だということになるので、コミケット会場に持っていくバッグを決める場合はそういった観点から選びたい。

■良いバッグを正しいスタイルで■

1：紙袋・布バッグ

元々重い物を入れる事を前提に作られていない紙袋等では、ただの紐が手に使われていることも多い。そういった物に本を詰め込んだりすると持った時に食い込んで非常に痛い。例え持ち手が肩にかけられる長さがあっても痛む場所が手から肩に変わるだけで少しも快適にはならないし、何より持ち上げたり下ろしたりの際に紙袋と持ち手の接合部に無理な力がかかるために紙袋そのものが破れてしまう危険性が高い。

その面ではエコバッグなど持ち手が薄い布地でできているようなトートバッグも、丈夫さはともかく手や肩への負担は大差ないので、メインの買い物バッグには用不足（コンパクトに折りたためることから）、あくまで非常用と考えた方がよい。

紙袋でも布トートでもせめて持ち手は極力幅が広く、楽に長さのある物を持つ（特に冬は上着の分の厚みを考慮する）。

また、手に何か緩衝材になるものを巻くと手や身体への少しは低減されるので、グリップサポーターを用意しておく。

また、これらのバッグの大きな弱点は雨に対してほぼ無防備と、それ単体では安定が悪く、常に手に持っていないと不安定なことなので、その対策はあらかじめ講じておこう。

たとえば段ボール1枚でも底板があれば大分安定は良くなる。雨が降る降らないに関わらず大型書店などで本を入れるのには丈夫なビニールの袋を数枚用意しておけば買った本をきれいに保つことができる。（万が一ぶちまけてしまった場合でも袋入りなら安心だ）また、サブバッグと一緒には一緒にバッグに忍ばせておこう。

2：バックパック

バックパックは当然ながら最も重い荷物を最も軽い体感重量で運べるバッグだが、その分バッグそのものの良し悪しがモノになる際にはよく見極めよう。肩に当たるショルダーベルトの厚みと柔軟性があり、その付け根とバックパック本体の接合部をいくつか実際に背負ってみて、首の後ろから左右の肩にかけての負担を軽減できるかを確認しよう。

なお、そのショルダーベルトはバッグが重くなってきたら背負った後ぎゅっと短くなるように引き締めると（大抵のバックパックにはその為のイージースライダがショルダーベルトの途中に付いている）、バック本体が背中に密着して体感過重がぐっと軽く感じられるようになる。腰部分でもバックパックを支えることができるウェストベルトは更に楽になるし、ショルダーベルトを胸の部分で左右連結できるサイドベルトやバックパック自体のかさを締めてくれるストラップも的確に締めれば驚くほど身体への負担は軽くなるので、ベルト類はぶらぶらさせないで的確に締めるようにしたい。ショルダーベルトを長くしてお尻の上あたりでバック本体をぶらぶらさせているのは、少なくともコミケット会場内ではやめよう。

